

## 会長選任方法

- ・会長は投票によって選挙するものとする。
- ・会長が何らかの事情によりその職務を全うできなくなった場合、新たに会長が選任されるまでの間、副会長が会長の職務を行う。また、その事実が発生した日から四十日以内に選挙を行う。
- ・会長の選挙における選挙長は現会長もしくはその代行者が役員会の決議により選任するものとする。
- ・選挙の期日は十四日前までに会員に告示しなければならない。この告示は選挙長が行うものとする。
- ・会長の候補者となろうとするものは選挙が告示された日に選挙長にその氏名を報告しなければならない。
- ・選挙長は会長の候補者となろうとする者の報告を受けた場合、ただちに会員にその旨を通知しなければならない。
- ・会員は選挙の当日に投票用紙により投票することができる。当日に投票ができない場合、告示の翌日から投票日の前日までの間に選挙長に投票を依頼することができる。選挙長への依頼は、文書若しくは電子文書により行う。
- ・会長の選挙においては、有効投票の最多数を得た者をもって当選人とする。ただし、有効投票の総数の四分の一以上の得票がなければならない。
- ・会長が辞職しようとするときは、辞職する日の二十日以上前に役員会に報告しなければならない。

2017.8.27

因藤陽一